

# 都市再生整備計画(第5回変更)

こばりあおやまかいが<sup>ん</sup>しゅうへん  
小針青山海岸周辺地区

新潟県 <sup>にいがたし</sup>新潟市

令和2年2月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	ニイガタシ 新潟市	地区名	オホリ アサヤマカハレシノウヘマク 小針青山海岸周辺地区	面積	877 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度				

目標

- 目標 地区の防災力及び居住環境の向上を図り、安心・安全なまちづくりを推進する。
- 目標1: 丘陵地と海岸に挟まれた地域特性による災害に対応できるまちづくりを進め、防災力の向上を図る。
  - 目標2: 歩行空間の確保や交通安全施設の整備等を行い、居住環境の向上を図る。
  - 目標3: 地域コミュニティの活性化及び官民連携により、自助・公助・共助の体制づくりを進める。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 高度経済成長期に発展した住宅地
  - ・小針青山海岸周辺地区は、丘陵地に形成された住宅地で昭和30年ころから造成が進んだ。
  - ・昭和39年の新潟地震後、被災した人たちが郊外に住宅を求めたことや国道116号の西小針延伸で交通の利便性が高まったこともあり、急速に世帯数・人口が増加した地区である。
  - ・高度経済成長期を通じて東西に走る西大通り(旧国道116号)、JR越後線に沿うように市街地が形成され、中央区に次いで2番目に人口の多い西区の生活拠点と位置づけられている。
- 優れた立地条件の住宅地
  - ・新潟市における都心部に隣接する地区であり、都心部と連絡する交通(国道116号、JR越後線)も発達していることから、都心部のベッドタウンとしての立地条件を備えている。
  - ・長い海岸線も有する地区で、砂浜から見える夕日は西区のシンボルともなっており、利便性のみならず、優れた自然環境も有する快適な住宅地としての条件も備えている。
  - ・大学など高度な学術研究機関も複数立地しており、学術・文化・産業が交流するまちづくりが進められている。
- 地域特有の災害リスク
  - ・東西に延びる丘陵地であるため、南北に雨水が集中することから、雨水排水対策が急務となっている。また、地区住民の高齢化も進展を考慮すると、地区全体の防災力の低下が懸念される。
  - ・海岸線を走る国道402号は第2次緊急輸送道路に指定されているが、飛砂の影響で道路路面が堆砂し交通機能確保のため除砂作業が必要となっている。
  - ・高度経済成長期に造成された住宅地が多く、道路等の社会基盤は現在の基準からみると狭小であるなど防災性の低い水準となっている。

課題

- 雨水対策による浸水被害のリスクの低減
  - ・地形的な要因で発生する雨水対策が地区の防災性能を向上させるために最も急がれている対策であり、雨水排水の強化、雨水流出の抑制を進める必要がある。
- 飛砂対策による緊急輸送道路の交通機能確保
  - ・国道402号は第2次緊急輸送道路であり、重要な路線である。そのため、飛砂対策を実施し、交通機能の安定的な確保が必要である。
- 地区内の狭隘道路における最低限の幅員確保に努め、避難路としての機能を確保することが求められている。
  - ・高度経済成長期の住宅地で、地区内の道路は狭隘区間が多い。全面的な見直しは難しいものの、部分改良により道路機能の向上を図り、安全性・利便性の向上を図ることが求められている。
- 地域で取り組む「地域防災力」の向上
  - ・社会基盤の改修による地区の防災性能の向上のほか、地区住民の高齢化の進展を考えると、自助・公助・共助の取組の中で共助の必要性が高まっている。
- 防災の取組を通じて地域の基本的な課題解決に向けた地区住民の積極的なまちづくり参加
  - ・西区は旧新潟市内で地域コミュニティ協議会の設立が最も早かった地域である。
  - ・防災をテーマに地域で取り組む活動を通じて、安心・安全、福祉、教育など地域の基本的な課題解決に向けて、積極的なまちづくりに参加し、行動する仕組みづくりへ発展させることが重要である。
- 海岸線における魅力創出
  - ・西区の魅力である「砂丘から見える夕日」を眺めながら海岸線を安全に通行できる環境整備を行い、居住環境の向上を図ることが求められている。

将来ビジョン(中長期)

- 新・新潟市総合計画における西区の区ビジョンの基本方針／西区 区ビジョンまちづくり計画(案)
  - ・総合計画において区の目指す姿の1つとして「優れた居住環境のまち」が掲げられており、環境対策や災害対策を進め、安心して安全で快適に住むことのできるまちを目指すとしてされている。
  - ・区ビジョンまちづくり計画(案)でも「優れた居住環境のまち」に向けて自主防災組織の育成、防災知識の普及啓発、雨水排水の強化、雨水流出の抑制等が主な取組とされている。
- 新潟市都市計画マスタープラン
  - ・都市・地域づくりの方針5「安心してくらす都市新潟」における「5-1 自然災害に強い都市づくり」で「水害に強い都市空間の整備を推進する」、「防災力を高める」の2つが目標として設定されている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値	目標値	
							目標年度
冠水被害件数	件/年	地区内で発生する冠水被害の5年間の平均件数	雨水排水強化・流出抑制対策による安心・安全なまちづくりに係る指標として冠水件数を設定。		19.4 件/年	10.0 件/年	H30
除砂量	回/年	国道402号の年間除砂作業回数	道路に係る安心・安全なまちづくりに係る指標として、緊急輸送道路における飛砂対策の効果を表す指標とし、除砂作業回数を設定。		35 回/年	25 回/年	H30
自主防災組織の結成率	%	地区内の自主防災組織(自治・町内会単独組織)の結成率	自助・共助・公助の体制づくりの指標として災害発生初期に迅速な対応がとれる自主防災組織(自治・町内会単独組織)の結成率を設定。		41% (35件)	52% (45件)	H30
歩行者・自転車の通過交通量	人/13h	国道402号(上新栄町地内交差点)の海水浴シーズン後における歩行者・自転車の通過交通量	海岸線を安全に通行できる環境整備の指標として、歩行者・自転車通過交通量を設定。		83 人/13h	100 人/13h	H30 海水浴シーズン後・休日
	台/13h		(歩行者)	133 台/13h	160 人/13h		

都市再生整備計画の整備方針等

小針青山海岸周辺地区(新潟県新潟市)

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○丘陵地の地形のため南北に雨水が集中する地域特性に対応する安心・安全なまちづくりを進める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水排水対策及び雨水流出抑制で地区の浸水被害を防止</li> </ul>	<p>■基幹事業</p> <p>□関連事業 雨水貯留施設設置事業(寺尾北) 雨水吐口事業(上新米町)</p>
<p>・道路等の公共施設の雨水対策の強化</p>	<p>■基幹事業 道路:文京町五十嵐二の町線2号等雨水対策事業 大学南地内雨水対策事業</p>
<p>○海岸道路の飛砂の影響、狭隘な地区内道路等に対応する安心・安全なまちづくりを進める</p>	<p>■基幹事業 道路:402号道路改良事業 西2-112号線道路改良事業 飛砂対策事業(402号線沿線) 文京町五十嵐二の町線2号安全対策事業 地域生活基盤施設:青山海浜公園案内看板設置 寺尾中央公園防災倉庫整備事業</p> <p>□提案事業 地域創造支援事業:飛砂対策事業(なぎさふれあい)</p>
<p>○地域住民と連携した自助・公助・共助の防災体制づくりを進める</p>	<p>■基幹事業 道路:西2-112号線道路改良事業 地域生活基盤施設:青山海浜公園案内看板設置 寺尾中央公園防災倉庫整備事業</p> <p>□提案事業 まちづくり活動推進事業:勉強会及び制度設計(防災、狭隘道路等) 地域創造支援事業:寺尾中央公園内カフェ設置社会実験 事業活用調査:寺尾中央公園内休息所活用調査</p>
<p>その他</p>	





都市再生整備計画の区域

小針青山海岸周辺地区(新潟県新潟市)

面積	877 ha	区域	青山、有明町、五十嵐一の町、五十嵐二の町、五十嵐東、浦山、大野、上新栄町、小針、小針が丘、小針上山、小針台、小針西、坂井砂山、関屋、関屋堀割町、大学南、寺尾上、寺尾北、寺尾台、寺尾中央公園、寺尾西、西有明町、西小針台、真砂、松海が丘、松美台
----	--------	----	--

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

